



会長挨拶

令和6年度がスタートして、早1か月が経ちますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。お蔭さまで、共助会は、昭和29年(1954年)4月に千葉県社会福祉協議会内に事務所を置き業務を開始してから、令和6年(2024年)4月で70周年を迎えました。

今や施設数が860施設、加入者数22,000人以上が利用する大きな組織になり、千葉県内の福祉施設に働く人々にとっては、益々重要な位置づけになってきております。

今年度も引き続き、会員の皆様に少しでもお役にたてるように努力してまいります。

さて、今回の「共助会ニュース」では、「令和6年度の事業計画及び予算」を特集しております。ご確認をお願いします。

まず、令和6年度の事業計画ですが、次ページ記載の通り、主として5つの事業を計画しております。

なかでも、「ポートフォリオ(運用バランス)の見直し」は、退職一時金の運用に大きな影響を及ぼす事業になりますので、専門家の意見を取り入れながら、慎重に実施していきたいと考えております。

なお、今回の見直し理由ですが、現在のポートフォリオは、6年前の2018年(平成30年)に策定しました。しかし、この6年間で共助会を取り巻く内外の環境は大きく変化してきております。それ故、現在のポートフォリオが、必ずしも実態にあっているとは言いがたい点がでてきています。よって、このポートフォリオをより現在の共助会の実態にあわせるため、昨年暮れに、コンサルタント会社へ「ALM分析(資産と負債のバランス分析)」を依頼しました。今月には、最終結果が出る予定ですので、この分析結果をもって、令和6年度に「ポートフォリオの見直し」を実施したいと考えております。

また、「電子申請導入の準備」は、前号(No.106号)でお知らせの通り、各施設様と共助会事務局との書類授受の事務フローを根本から見直す大きな事業になります。

この「電子申請導入」開始後は、各施設様及び事務局でも大幅な事務負担、事務コストの軽減を図ることが期待できます。開始予定は、計画通り2025年(令和7年)7月で今のところ変更ありません。

一方、予算についてですが、例年と比較して大きな変更はありません。前年同水準の総額約30億74百万円で予算編成しております。

以上が、令和6年度の主な事業計画と予算になりますが、特に「電子申請の導入」に関しましては、準備の過程で、皆様をお願いすることも多々でてくると思います。

何卒、ご協力の程、よろしく願いいたします。



共助会会長 **井上 峰夫**

『共助会創立70周年 記念講演』の開催

無料

共助会は、千葉県下の社会福祉施設に従事されている皆様方のご理解とご協力に支えられ、共済事業発足以来、「70周年」という節目を迎えました。

ささやかではございますが、皆様方への感謝の気持ちと今後、社会福祉の益々の充実と発展を祈念いたしまして、総会終了後、特別講師による『記念講演』を開催させていただきます。

皆様方には奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

日時 令和6年 6月20日(木)
午後3時 開始予定
※総会終了後に開始します
(総会は午後2時20分~2時50分を予定)

場所 オークラ千葉ホテル
3階「エリーゼ」にて

講師 あまたつ たけし
天達 武史氏

テーマ 『特別警報と気象災害への備え』



フジテレビ系列「めざまし8」の天気担当として出演中。愛称は、「天」気の「達」人と書いて「アマ・タツ」。

令和6年度事業計画ならびに予算

▶▶ 令和6年度事業計画

1. ポートフォリオの見直し

共助会が、退職共済事業を実施していくためには、安定的な資金運用が重要課題となります。

そのよりどころとして、2018年（平成30年）にポートフォリオを策定しましたが、共助会を取り巻く環境は、内外ともに大きく変化してきています。

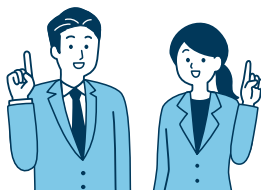
そこで、現在、改めてコンサルタント会社に「ALM分析（資産と負債の分析）」を依頼しております。

その分析結果に基づき、令和6年度はポートフォリオの見直しを実施したいと考えています。

2. 慎重な資金運用

令和6年度、既存のポートフォリオの見直しと併せて、資産の委託先金融機関の拡充を検討しております。

専門家やコンサルタントの助言を受けながら、これまで以上に皆様のご期待に沿えるよう、より慎重な資金運用を心掛けます。



3. 研修事業

現在、社会福祉事業をおこなっている方々の最大の悩みは、人手不足かと思えます。施設従事者を育成し、定着させて活気ある組織・団体を作り上げていくことも大切なことです。

共助会は、ここ数年開催できませんでした「集合研修」を様々なテーマで開催したいと考えております。

4. 福利厚生事業の実施

社会福祉事業に従事されている方は、日頃より厳しい業務に追われていることと思えます。

共助会は、そのような皆様が、ご家族や同僚とともに心身のリフレッシュのための時間を過ごすことができるよう、観劇、歌舞伎、スポーツ観戦等の会員交流事業の充実に努めてまいります。

5. 電子申請導入の準備

共助会は、2025年（令和7年）7月より、「電子申請」の導入を予定しています。

「電子申請」が導入された場合、施設や事務局の事務負担、事務コストが大幅に軽減されます。

その為には、令和6年度は様々な角度から現在の事務及び制度の見直しが必要となります。

ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

公益目的事業

福祉に係る法人活動の促進と充実を図るための事業です。

1. 掛金収益見込	2,836,000,000円
加入者見込み数(年間)	22,300名
平均掛金額(1人当たり1ヶ月)	10,600円
2. 退職共済金の給付見込	2,500,000,000円
退職一時金(1人当たり平均)	1,000,000円
退職金支給人数	2,500名
3. 退職年金の給付見込	6,250,000円
4. 生活資金の貸付見込	40,000,000円
平均貸付額	800,000円
貸付件数	50件



5. 福利厚生事業の利用契約等

- 割引利用券の配布
レジャー施設、宿泊施設
- 福利厚生センター事業の実施
福利厚生センター（ソウェルクラブ）との委託契約に基づき、加入促進事業と会員交流事業を実施します。

6. ホームページの活用並びに機関紙「共助会ニュース」の発行

共助会事業の理解と普及促進のため、ホームページの活用と機関紙の発行（年3回）を行い、適宜適切な情報の発信に努めます。

7. 関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会への参加

新潟県で実施の予定です。

8. 研修事業の実施

事務初心者のための研修会を含め、年3回実施する予定です。

会員相互扶助等事業

慶弔・災害見舞金の支給や長年社会福祉事業に貢献したことを顕彰し、その労苦に報いるための制度です。

1. 慶弔金等の給付見込

- (1) 慶弔金(結婚) 20,000円 500件 10,000,000円
- (2) 慶弔金(出産) 10,000円 600件 6,000,000円
- (3) 弔慰金 50,000円 14件 700,000円
※加入者本人が亡くなったとき
- (4) 災害見舞金 最低限を見込みます ※火災により加入者所有の建物が被災したとき



2. 長期在籍者顕彰事業

共助会への掛金納付期間が25年を迎える方196名を対象とし、長期在籍会員顕彰式を開催する予定です。
(顕彰状の授与ならびに記念品の贈呈)

法人事業

総会等の各種会議の開催、共助会事務局運営全般のことです。

1. 総会の開催 1回

令和5年度事業報告・収支決算書について審議します。

2. 役員会(理事及び監事)の開催 4回

3. 監事会の開催 2回(決算監査、中間監査を各1回)

4. 会計監査人による外部監査

5. 委員会の開催 6回



その他

資金調達及び設備投資の見込みについて

<資金調達の見込み>

当事業年度中における資金調達の予定はありません。

<設備投資の見込み>

- 無形固定資産ソフトウェア(退職共済システムの改修) 3,000,000円
- ソフトウェア仮勘定(新退職共済電子申請システム) 90,000,000円



令和6年度 収支予算書総括表 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

【収入の部】

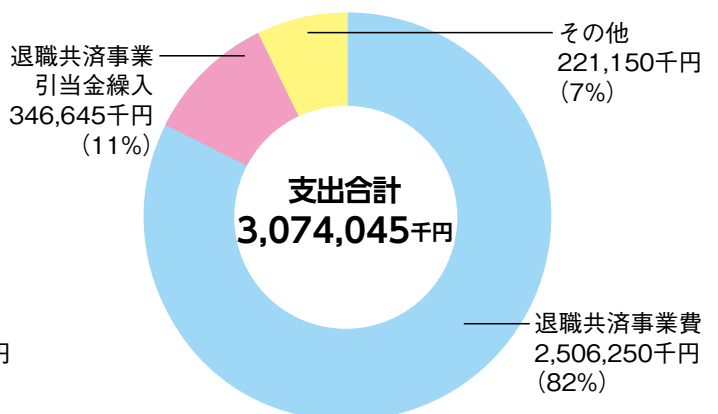
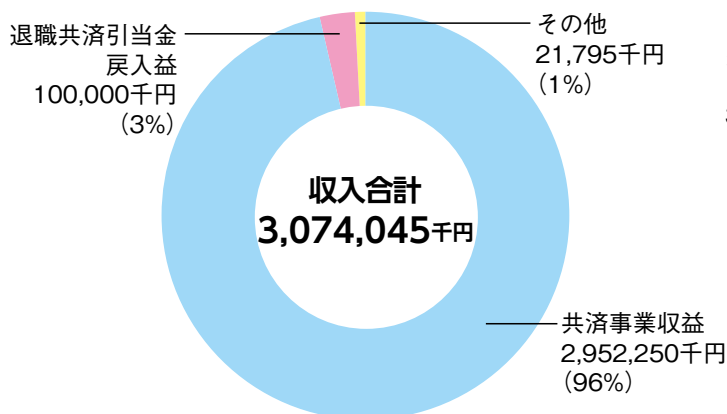
(単位:千円)

科 目	公益目的	会員相互	法 人	合 計
基本財産運用益	0			0
特定資産運用益			3,735	3,735
共済事業収益	2,889,858	39,704	22,688	2,952,250
貸付金利子収益	2,510			2,510
業務委託収益	1,500			1,500
交流事業収益	14,000			14,000
退職共済引当金戻入益	100,000			100,000
雑収益	50			50
当期収入合計	3,007,918	39,704	26,423	3,074,045

【支出の部】

(単位:千円)

科 目	公益目的	会員相互	法 人	合 計
退職共済事業費	2,506,250			2,506,250
慶弔金事業費		16,800		16,800
長期在籍会員顕彰事業費		12,230		12,230
広報普及事業費	1,120			1,120
研修事業費	2,000			2,000
福利厚生事業費	15,700			15,700
退職共済事業引当金繰入	346,645			346,645
管理費	135,150	2,390	35,760	173,300
当期支出合計	3,006,865	31,420	35,760	3,074,045
当期収支差額	1,053	8,284	△9,337	0



皆様に
ソウェルクラブを
ご紹介します

福利厚生

～ 安心して働ける環境づくりのために、福利厚生の充実を!! ～

福利厚生センター（ソウェルクラブ）は、福利厚生事業を全国規模で共同化することにより、規模のメリットを最大限に活かした多種多様な福利厚生サービスを提供している団体です。

共助会は、千葉県内の社会福祉施設に従事している方々の勤労意欲の促進、利用者への更なるサービス向上の一助となれるように、ソウェルクラブ千葉として業務の一部を受託しております。



職員の健康のために

《生活習慣病予防健診費用助成》

生活習慣病予防健診等を受診した場合に、検査項目に応じて助成します。

- 生活習慣病予防健診…30歳以上の会員対象 最大 3,800円
- 乳・子宮がん検診……20歳以上の会員対象 最大 800円
(乳・子宮がん検診については、いずれか又は両方を受診した場合)

《健康生活用品給付》

毎年、全会員に健康生活に関わる品物の中から希望する1品をお届けします。

全40品目から
選べます!

《こころとからだの電話健康相談》

専門の資格を持つ経験豊かな相談員が、さまざまな相談をお受けします。
(ご家族も利用できます) **相談料、通話料無料、24時間年中無休**

その他にも様々なサービス事業をご用意しています。
是非、ソウェルクラブのホームページをご覧ください、
加入をご検討いただきますようお願いいたします。



福利厚生センター
ホームページ

年会費

イチオシ

第1種会員 10,000円

どなたでも加入できます。ソウェルクラブが提供する**全てのサービス**が利用可能。

第2種会員 5,000円

非常勤職員のみ加入できます。**一部のサービスのみ**利用可能。

職員の資質向上のために

《各種講習会（オンライン研修）》

受講料、教材費無料

- メンタルヘルス講習会 ●ハラスメント防止講習会
- 接遇講習会 ●カスタマーハラスメント防止講習会

《資格取得記念品贈呈》

リスキングの促進

働きながら社会福祉に関する専門資格を取得した会員に、5,000円相当の記念品を贈呈します。



- 社会福祉士 ●精神保健福祉士 ●介護福祉士 ほか

職員のリフレッシュのために

《会員交流事業》

仕事へのモチベーションアップ

会員同士の親睦やご家族とのひととときに、観劇やスポーツ観戦の他、色々な企画に最大半額で参加できます。(応募者多数の場合、抽選となります)
非日常の世界に触れることで、新たな発見があるかも知れません。

- 加入のお申込み、福利厚生に関するご相談は

☎0120-292-711

社会福祉法人福利厚生センター まで



資産運用報告

令和6年2月末現在 資産運用状況

(単位:円)

資産	取得価額	時価	評価損益
国内債券	3,917,458,837	4,027,419,166	109,960,329
国内株式	129,458,124	365,447,263	235,989,139
外国債券	14,484,174,960	14,384,257,069	△ 99,917,891
外国株式	2,741,877,745	3,830,080,337	1,088,202,592
オルタナティブ	2,762,183,403	3,071,214,022	309,030,619
その他	2,412,590,535	2,418,428,919	5,838,384
資産合計	26,447,743,604	28,096,846,776	1,649,103,172

時価総額 28,096,846,776

要支給額 29,380,962,637

充足率 = $\frac{\text{運用資産の時価総額}}{\text{要支給額}}$

95%

東京株式市場では、今年3月4日に日経平均株価が、史上初めて4万円台の4万109円の終値をつけました。この株価上昇は、米国のハイテク株の上昇を背景に、東京でも半導体関連銘柄が上昇したことによるもので、今後の日経平均の方向性としては、やはり半導体・AI関連による部分が色濃くなりそうです。

また、3月19日には、日銀はマイナス金利政策の解除を含む金融政策の修正を決定しました。日銀の利上げは、2007年2月以来、約17年ぶりです。今後は、適切に金融政策を運営するなかで、「当面、緩やかな金融環境が継続する」との見方を示しています。

一方、世界に目を向けますと、ロシアとウクライナとの紛争も2年が経過しました。まだ、終戦の糸口さえ見つかからない状況ですが、あわせて他の地域でも様々な紛争が勃発しており、引き続き不安定な世界情勢が続いています。

そのような中、共助会では、令和5年度は、伝統4資産（国内債券、海外債券、国内株式、海外株式）とオルタナティブ投資で運用し、年5.54%の収益（約13億8000万円）を確保しています。

また、充足率も令和6年2月末現在、95%を確保できています。

今後も、事務局では、適宜ポートフォリオの見直しを実施しながら、引き続き資産の保全を第一に着実かつ安定的な資産運用に努めてまいります。